

蓮田病院広報

第40号 7・8月号

東日本大震災により
被災された方々、ご家族
の皆さまに心より
お見舞い申し上げます。

蓮田病院職員一同

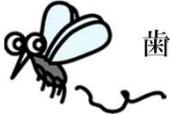
日本はひとつ

蓮田病院理念

“思いやりのある やさしい医療”
“最新の高度医療”

発行：蓮田病院広報部
連絡先：048-766-8111 蓮田病院総務課
発行日：平成27年7月1日

今年の夏も「デング熱」に注意



歯科医師 歯科口腔外科部長
秋月 弘道



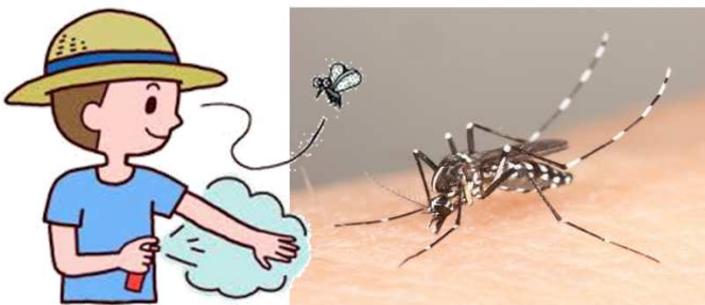
昨年夏、東京の代々木公園を中心に広がった「デング熱」。国内での感染は約70年ぶりで、代々木公園以外の場所にもウイルスを持つ蚊は広がりました。埼玉県でも8月に10代の女性が、突然高熱が出たため、県内の医療機関を受診。血液検査でデング熱と確認されました。

デング熱のウイルスを媒介するのは、ヒトスジシマカで、その活動期は5月～10月とされ、庭や公園、墓地などに生息している、いわゆる「ヤブ蚊」です。通常、蚊に刺されてから2日～15日（多くは3～7日）の潜伏期間の後、高熱（38～40℃）・頭痛・眼窩痛・関節痛・筋肉痛・発疹などを呈し、症状は1週間ほどで回復します。まれに重症化して、出血症状やショック症状を呈するデング出血熱を起こすことがあります。特別な治療法はなく、症状に応じた治療が行われます。「デング熱」にかからないためには、予防のワクチンなどはないので蚊に刺されないようにするしかありません。

蚊に刺されやすい人の体質や特徴には、以下のようなものがあると言われています。血液型ではO型が最も蚊に刺されやすく、「O→B→AB→A」の順番です。また、体臭が強い、妊娠中の女性、赤ちゃん、色黒、飲酒後や運動直後、さらに痩せている人よりも太っている人のほうが、刺されやすいと言われています。

虫刺されを防ぐには、蚊が室内に入らないよう窓に網戸をつけ、エアコンを使用する。外に出るときは長袖、長ズボン、靴下と靴を履き、手や顔に虫よけスプレーを塗るのが効果的です。また蚊の発生や繁殖を防ぐため、雨水タンクに蓋をしたり、タイヤに溜まった水・ペット用の水・鉢植えの皿の水を放置しないことなどが大切です。

十分な注意をはらって、デング熱にかからないようにしましょう。



感染症雑感



内科医師 内科部長
西田 淳二



天候不順の季節になり体調を崩す方も多いかと思えます。私は先月から当院の感染対策委員長に任命され、その途端に隣の韓国でMERSが流行し、日本に飛び火しなければよいかと頭を痛めているところです。SARSや鳥インフルエンザなどと同様、初めての感染症には免疫がありませんので、悲惨な事態に至ることがあります。

コロンブスがアメリカ大陸を発見した当時の北米インディアンの人口は2000万人と推定されていますが、その200年後、ヨーロッパ人が本格的に入植を開始した頃には、交易者たちのもたらした疫病によって100万人に激減しており、入植による摩擦がほとんどなかったそうです。実に95%の先住民が死亡したことになります。

また、スペイン人のコルテスがメキシコのアステカ帝国を征服できたのは実は銃の威力だけではなく、1520年に1人の奴隷が持ち込んだ天然痘によって、アステカの人口のほぼ半分が死亡し士気が低下したことも原因で、2000万人だったメキシコの人口は1618年には160万人まで減ったとのこと。旧大陸では家畜飼育が一般的で、天然痘、結核、はしかなど、家畜の病原体が変異・進化してヒトに感染するようになったのですが、新大陸には家畜がおらず、免疫がなかったのだと考えられます。そういえばMERSももとをたせばラクダのウイルスでした。

検疫による防御が大切なのは論ずるまでもありませんが、我々個人ができる対策は何か、と考えておりましたら、同僚の山口先生が一つの解答を示唆してくれました。かつて臓器移植の治療にはどうしても10%程度の早期死亡があり、その死亡例を分析すると、術前の健康状態が劣る患者さんに起こる重症感染症が原因であるとわかり、移植待機中から栄養など健康管理に努めたらその術後早期死亡が減少したのだそうです。

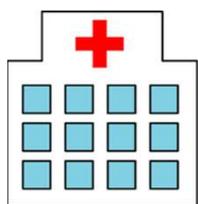
日頃から健康維持に努めていれば、いざというときに感染症に負けないかもしれません。感染症に勝てる体力づくりを期待しております。



中東呼吸器症候群 (MERS) について

薬剤部部長 相澤 鉄也

現在、中東諸国や韓国で発生している中東呼吸器症候群 (MERS) は6月に入っても依然、感染が拡大しており5月末の時点で感染者が合計1000人を超え、約40%の方が亡くなっております。この原因となっているMERSコロナウイルスは2012年9月に初めて報告された新型コロナウイルスです。これは2002年に発生したSARS (サーズ) の仲間であり、主に感染者のせきなどによる飛沫で感染します。症状は風邪とほぼ同じで発熱やせきなどの呼吸器症状が主ですが糖尿病や慢性呼吸器疾患、腎不全などの基礎疾患がある方は重症肺炎に移行する危険性が高いと言われています。現在、有効な治療薬やワクチンがないため、手洗いやうがい、必要に応じマスクの着用などの基本的な予防策が大切です。また、睡眠を十分とって抵抗力を養うことも重要です。国としても空港での検疫等、水際対策は講じておりますが潜伏期間が最長2週間と長いため、すり抜けてしまうことも考えられます。当院では6月6日に来院者向けに注意喚起する案内を出入口に掲示するとともに万が一、疑わしい患者さまが来られた際の対応フローチャートも職員向けに作成いたしました。この時期、風邪の症状があり、2週間程度前までに中東諸国や韓国へ渡航された方は**すぐに病院に行くのではなく、まず居住地の保健所や指定された病院へ連絡し、適切な指示を仰ぐことになっていますのでご注意ください!!**



まずは
電話で
確認を!!



◆◆◆ドクター紹介◆◆◆

外科医師 遠藤 健

根治性を追求しつつも合併症がなく術後のQOL(生活の質)を重視した大腸癌手術を実施いたします。



サービス付き高齢者向け住宅 花みずき白岡 の紹介

現在、蓮田病院では、白岡市内の白岡八幡宮の近くにおきまして、「サービス付き高齢者向け住宅 花みずき白岡」の建設を本年秋(10月)の開設に向けて進めておりますので、紹介させていただきます。聞き慣れない言葉かと思いますが、「サービス付き高齢者向け住宅」とは、高齢者の方がお一人でも安心して暮らせる住まいです。介護等の専門家が常駐し、24時間の見守りや生活相談サービスを行い、万が一の際にも対応できる体制となっております。医療や介護は、蓮田病院の訪問診療、看護、ホームヘルパー等のサービスをご利用頂けます。また、全館バリアフリーで各部屋にナースコール、防犯カメラなどの設備も充実しております。居室数は30室です。入院を続けねばならないような方でも、状態が安定されていれば在宅の暮らしができる住まいを目指しております。

今後、具体的な開設などの日程などが決まりましたら、改めてご案内させていただきます。

文責 サ高住準備室
田嶋 和賀夫



7月現在 花みずき白岡 建設中

蓮田病院公開講座のお知らせ

日時:平成27年8月7日(金)

13:30~14:40 (開始時間が変更になりました)

講師:1. 大腸癌について

外科医師 遠藤 健

2. 手のケアとリラクゼーション

リフレクソロジー・プロイセンス実技士認定者

看護師 岡田 亜由美

参加費:無料

お問い合わせ:病診連携室 TEL 048-766-3660

※諸事情により講師が変更になる場合がございますのでご了承ください。

編集後記

じめじめした嫌な季節もこれからどんどん気温が上がりさらに過し難い日々が続きますが、皆様体調管理は、いかがですか。

この度、6月より新しい医師の遠藤健先生が入職されました。遠藤先生は次回8月7日の公開講座の講師を引き受けてくださいました。期待できるお話かと存じますので是非ご参加ください。お待ちしております。

最後に、27年度広報委員になりました一瀬と申します。楽しみにしていただけの広報誌をお届けできるよう努めます。よろしくお願い致します。

広報委員会 一瀬 裕

